

【USAGI 通信 傑作選】 Vol.25 「ネットワーク型」のその先へ…

※この文書は、会員向けに週一回発行しているコラムの中で、特に評価の高かったものを抜粋し、一般公開しているものです。

かつての USAGI は「Unit System And Good Item (個々のユニットと良い商品の繋がり)」でした。そこで生まれたバージョン 1 はピラミッド型 (管理の時代) として生まれました。そして (USAGI 通信 Vol.22) にあるバージョン 2 ではネットワーク型 (接続の時代) に変貌を遂げました。

ある日 (USAGI 通信 Vol.4) での「ふと降りてきた」バージョン 2 のネットワーク構成はその数年後、AI の解析で「USAGI のネットワーク構成は自立型分散 OS としての可能性を秘めています」との回答を得ました。

そして AI とアイデアの壁打ちを繰り返す中、ふと生じた「ネットワーク型」のその先のイメージ…

それは「Unified Strategy for Agility and Global Integration」へのメタモルフォーゼです。

- ・ [U]nified [S]trategy (統合された戦略) : 個別最適ではなく、業界全体の最適化。
- ・ [A]gility (機敏性) : ネットワーク型による、淀みのない商流の回転。
- ・ [G]lobal [I]ntegration (全域的統合) : 日本中の商流を「道」として統合する。

メタモルフォーゼのテーマは…

(USAGI 通信 Vol.21) の枯れた技術によって盤石な土台を築き、
(USAGI 通信 Vol.13) のシナプスのように商流が有機的に繋がり、
(USAGI 通信 Vol.17) の「汗が報われるアルゴリズム」が、ひたむきな現場の努力を、正当な「価値」へと変換する。
を基盤にした道を広げていくことです。

「道」は色んな人が通り、色んな活動が営まれ、色んな価値が通ります。
かつては険しい「山道」だった商売のやり取りを、誰でも安心して通れる「公道」へと作り変える…それが「次世代の USAGI」が目指す、一つの到達点です。

「次世代の USAGI (Beyond the network)」が稼働する時、この道はもう、特定の 1 社が作った「囲い込みの檻」ではなく、誰もがその上で商売を営み、共通の言語 (プロトコル) として機能する共有のインフラの側面を持ったシステムです。

今日、この道を通るあなたの足跡が、次世代のスタンダードを形作っていきます。

© 株式会社 USAGI | B2B プラットフォーム「USAGI システム」 <https://sys.usagi.jp/>

接続を越え、誰もが通れる産業の公道へ。共通の言語が、淀みなき商流を加速させる。